阿知須町広報

No. 209　この広報紙は毎月1回各ご家庭にもれなく配布

昭和44年4月5日

山口県吉敷郡阿知須町
発行　阿知須町役場
印刷阿知須砂合　よしの印刷

寄付三件

▽砂合保育所の第十五回卒園生（今春）の父兄は卒園記念として木琴七台を同所に寄贈。

▽西条区の老人クラブ松風会（磯中正雄会長）は雑布八十枚を小中学校と岩倉、砂合両保育所に寄贈。

▽東京都江戸川区一ノ一ノ二三平井荘内縄村節子さん（砂合二区出身）は町広報郵送の謝礼として町へ一千円を寄付。

終りは午後五時
町役場の執務時間が変りました

四月一日より町役場の執務時間は午前八時三十分から午後五時まで（従来は四時半）となりました

今月の納税

軽自動車税
固定資産税第一期分
年金保険税四月分

当初予算

前年度より四十四パーセント増　一般会計
一億六千万円でスタート
企業誘致の成果あらわる

新年度予算など決める第二回阿知須町定例議会は三月一日から五日間開かれ四十四年度予算など十七議案全部が原案どおりきまりました。中でも新年度の一般会計や国民健康保険事業、簡易水道事業、交通災害共済など特別会計の議案については総務委員会で慎重審議されました。この結果、四十四年度一般会計は前年度当初予算に比べて四十五%（約五千万円）ふえて一億六千七百四十一万四千円となり、特別会計は国民健康保険事業が三千二百六十六万九千円、簡易水道事業が四百六十一万九千円、交通災害共済事業が百六十五万九千円ときまりました。とくに一般会計はことしから若山産業の固定資産税が入るようになり、ゴルフ場関係の税収と合わせて企業誘致の成果が町財政をうるおすようになったのがめだちます。なお議案審議にさきだって中尾町長から「役場の庁舎落成とあわせて町制施行二十二周年記念式を行ないたい」との施政方針（別掲）が明らかにされました。予算の大要は次のとおりです。

一般会計予算から

歳入の部

町税…六千五百万円…歳入全体の三十八%に当ります。町民税…一千八百万円　固定資産税…三千万円　軽自動車税…二百七十万円　たばこ消費税…六百四十万円　電気ガス税…三百二十万円　都市計画税…三百九十万円で昨年度より合計一千万円増額です。

これは若山産業KKが今年度から納税するようになったことや、ゴルフ場万年池コースの完成、その他により固定資産税が昨年度当初に比べ、七百万円増加しているのがめだちます。タバコ消費税は町内で買う人が多ければ多いほどふえます。

娯楽施設利用税交付金…五百万円…歳入の三%に当ります。ゴルフ場を利用する人に課せられる税金の見返りで、本町にはゴルファーが納めた利用税の六分の一つまり一人一回で百円ずつ入るようになっています。万年池コースの完成で利用者もふえるので昨年度より二百万円の増加を見込んでいます。

自動車取得税交付金…二百七十万円…歳入全体の一・六%です。自動車を購入するとき三%の県税が課せられますが、道路の延長や面積等により交付されます。

地方交付税…四千四百八十万円…歳入全体の三十七%で、町税に次いで大きな収入源です。町の人口、面積等により、国から交付されるものです。昨年度より九百万円増額しています。

分担金および負担金…二百三十万円…歳入全体の一・四%です。おもに保育所児からの分担金で百九十万円あります。

使用料および手数料…六十万円おもに戸籍関係の手数料です。

国庫支出金…九百万円…歳入全体の五・三%に当ります。

保育所関係に百四十万円。昨年災害にあった土路石川下流の改十橋に百三十万円、教育費に百万円が補助されます。

県支出金…二百二十万円…歳入全体の一・三%に当り、老人健康診断など社会福祉関係に三十万円、結核予防など保健衛生に二十万円、農業費に六十万円を計上しています。

財産収入…三百万円…歳入全体の一・八%に当ります。町有地や町営住宅の売却代金などです。

町債…三千百万円…歳入全体の十八・六%。庁舎建設のための三千万円が主です。

歳出の部

議会費…四百二十万円…歳出全体の二・五%に当ります。議員報酬など人件費や旅費等です。

総務費…七千九百七十万円…歳入全体の四十七・六%を占めます。職員の給与など人件費が二千万円燃料や印刷代など需用費が五百万円。この中には町広報紙や郷土史誌印刷代などがあります。庁舎建設工事に四千五百万円。これで昨年度から七千五百万円を予算化しました。

民生費…一千三百万円…歳出全体の八%です。職員の給与など人件費が一千万円、保育所の給食燃料代など百万円、老人健康診断や敬老会など老人福祉費が七十万円です。

衛生費…四百八十万円…歳出全体の二・九%。職員の給与など人件費が百六十万円、ゴミ処理委託料の七十万円などがおもです。

農林水産業費…九百四十万円…歳出全体の五・六%。職員の給与など人件費が三百七十万円。農業振興費をはじめ漁業振興など各種負担金補助が三百万円。

商工費…六十五万円…歳出全体の〇・四%、十七夜祭煙火補助や商工振興などの負担金補助などです。

土木費…一千万円…歳出全体の六・一%に当ります。職員の給与など人件費七百万円。道路維持の雑工事費が五十万円。ヒューム管や砕石代など八十万円がおもです。

消防費…三百四十万円…歳出全体の二%で、団員の報酬など人件費に二百万円。消防車の燃料、修繕など七十万円。団服、ホース購入に二十万円。

教育費…二千三百万円…歳出全体の十三・九%に当ります。教育委員会、公民館、学校給食の職員の給与など人件費に一千万円小学校関係では、燃料、修繕などに百五十万円。教材費、学校器具児童机などに百八十万円。中学校関係では、燃料、修繕などに百四十万円。技術家庭科教材、理科教材などに百七十万円、社会教育関係では婦人会、青年団などに十九万円の補助。父親学級、婦人学級の講師の謝礼に二十万円。体育関係ではキャンプ用具購入に七万円。給食関係では、光熱水費などに四十五万円などがおもなものです。

災害復旧費…二百三十万円…昨年災害をうけた土路石川下流の改十橋の復旧費です。

特別会計から

国民健康保険事業
三千二百六十六万九千円

これは加入者から納められた保険税と、国からの補助金とによって運営されています。今年度の保険税は歳入全体の四十二%に当る一千三百七十万円。これに対して国からの補助金は五十七・六%にあたる一千八百八十万円です。

歳出は、全体の九割以上が保険給付費でその額は二千九百六十万円、あとは職員の給与などの人件費となっています。

簡易水道事業
四百六十一万九千円

前年度当初予算とほとんどかわりません。歳入のおもなものは、給水料金の四百二十万円で全体の九十一%を占めます。

歳出は、公債費の百二十万円と職員の人件費、その他雑工事などが予算化されています。

交通災害共済事業
百六十五万九千円

交通災害共済事業特別会計は百六十五万九千円で前年度より十六万円増です。会費収入が主で四千人加入を見込んでいます。

施政方針
町長　中尾岩雄

昭和四十三年度の諸事業も予期以上の成果をえて、町政を執行することができましたことは、町民の皆さまをはじめ、議員各位の〝わが阿知須町を良くしていこう〟という、旺盛なる意欲と、町に対する多大なるご指導、ご協力の賜ものと深く感謝いたしております。過去十年を振り返ってみますと、本町の産業、文化は非常な発展を遂げました。これもひとえに町民や議員各位の努力によって平和の中で明るい町づくりがなされたからと確信いたしております。

さて昭和四十四年度の予算編成にあたり、施政の大略を申しのべてみたいと思います。

まず一般会計では、昨年度当初予算に比べ、四十五%増の一億六千七百万円を計上しております。この予算の中には、明治百年記念事業として、五月末完成を目標に昨年度から行なっている役場の庁舎建設があります。この建設費には四千五百万円を計上しておりますが、庁舎周辺には、〝花と緑の町阿知須町〟にふさわしい緑化計画を進め、消防機庫、その他駐車場の設置も計画しております。

そして、庁舎落成記念式典とあわせて、町制施行二十二周年記念式典を行ない、本町のために功績のあった方々を表彰し、その功績をたたえたいと思っています。また本町の歴史を知っていただき、より一層の融和と団結を固くしていただくとともに、十年後、二十年先の阿知須町の礎をさらに強固にしていただくために、郷土史誌の編さんを行なう計画です。

次に教育関係ですが、本年度も教育優先です。敗戦から二十数年世界の先進国の仲間入りがかなった日本は、やはり教育の賜もので あり、国民の努力だと思われます。これから先の日本を築く子どもたちのために、教育は、十分考えねばならない問題です。ところで本町の教育予算は、財政規模から、また、児童、生徒数からみても、この近郷では群を抜いていると確信しております。とりあえず今年度は、児童の机を四十万円で購入して、子どもたちがなるべく勉強しやすいよう配慮していく計画です。そしてさらに創意工夫をして学校施設、備品等を充実していく考えです。

農業関係では、各種の補助を行なってその振興を計るとともに、今年度も機械化を続けていく農業にマッチした農政を進めていくため、昨年度同様畜産の振興と農道の改修を考えております。また黒谷水路の改修工事は順調に進んでおりますが、さらに政府の認可が決定しだい補正予算で組み入れていく所存です。

漁業関係では、とる漁業から育てる漁業が工夫されつつありますが、〝魚のアパート〟ともいうべき漁礁を作り、魚の住み家を作って水産業の振興を計っていくつもりです。この漁礁関係については、いま県と接渉中であり、これも認可が決定しだい予算化したいと考えています。

土木関係ですが、継続事業の都市計画街路事業は今年度は、干拓まで開通さす計画です。したがってこれも補助金などの特定財源の確保に努力し、その早期実現を期する方針です。

なお歳入関係ですが、今年度は税の伸びはあまり期待できません しかし、ことしから新たに若山産業KKが課税の対象となり、ゴルフ場万年池コースとあわせて三百万円程度、新たな財源が確保できるようになりました。今年度は特に庁舎建設に大きな財源が必要となりますが、あらゆる施設の工事が遅滞したり、各種産業、文化等に支障を期さないよう、今後の予算編成には、最善の努力をしていくつもりです。

次の国保会計事業ですが、最近は、受診率が増大しております。これは健康に対する関心が高まり各人が健康保持に心がけておられる証拠でありますが、その反面、医療費が増大し、国保会計の財政運営は苦しくなってきております。しかし、被保険者の方に、ご迷惑をおかけすべきではありませんので、今年度は〝出して消すより出さない工夫〟をし、予防行政に重点をおき、この局面を乗り切る所存でございます。

簡水会計では、給水家庭は約六百世帯になり、順調にその運営を進めておりますので、水道料金の値上げは考えておりません。

最後に昨年から始まった交通災害共済事業会計ですが、昨年は町民全体の三十四%の加入をみました。この保険事業は普通の保険事業とちがって町がやっているのでしたがって安い掛金で不幸にして交通事故にあわれた方の悲劇を少しでも救っていきたいと考えております。今後ともより一層の加入を期しているものでございます。以上が今年度の施政の大略ですが、昨年度に倍するご指導とご鞭撻を賜わりますようお願い申し上げる次第であります。

四十三年度の最終予算補正

（一般会計）

一般会計は、一千百五十万円を追加補正し、四十三年度の総予算額は、二億二千四十万九千円になりました。

一般会計の歳出のおもなものは職員のベースアップによる、人件費が二百万円。新庁舎敷地の石垣工事が三百万円、庁舎設計監督料五十万円。国保会計へ六十万円を繰出す一方、簡易水道会計に七十九万円を繰出すよう予算化していたのをとりやめました。このほか二の宮農道（阿知須西岡）に二百四十万円。干害のためポンプを購入された農家に対する補助金として百八十万円。教育関係は中学校テニスコートの工事費を三十五万燃料などの需要費を三十五万円それぞれ予算化しました。

歳入としては、町民税が二百万円、娯楽施設利用税交付金百五十万円、地方交付税五百万円、干害にともなうポンプ購入に対する国からの補助金二十万円、二の宮農道の補助金六十五万円などです。

（特別会計）

国民健康保険会計

二百八万円を追加補正し、四十三年度の総予算額は、三千百九万九千円になりました。

お医者さんに支払う療養給付費を二百万円追加したのがおもな理由。歳入は、国からの被助金百二十万円追加、また一般会計からの繰入れ六十万円など。

簡易水道会計

九十六万円追加補正し、四十三年度の総予算額は六百九十万円になりました。歳出は新庁舎の水道布設工事費の七千万円がおも。歳入は、一般会計から七十三万円繰り入れるようにしていたのを減額し、給水料百万円、分担金などをあてるものです。

交通災害共済会計

百二十九万六千円を追加して総額三百万二千円となりました。加入者の会費収入です。

44年度の農業労働賃金（阿知須町農業委員会の基準）

種別	農業労働賃金	備考
春田耕起ツク代	平すき 2.500円　うねたて 2.800円	5アール以下2割増
5月耕耘機ツク代	3.500円　平すき 1.700円　代かき 1.800円	〃
5月牛馬耕ツク代	3.500円	〃
秋田	2.800円	〃
秋田耕耘機ツク代	うねたて 3.000円	〃
秋田 砕土往復	200円	〃
特殊田（深田）	4.000円	〃
畑 耕起耕耘機	2.800円	〃
畑 耕起牛馬耕	1.700円	〃
田植 午前7時～午後6時（休憩含む）	女 1日 1.100円	
平常雇	男 1.000円　女 800円	
脱穀	稲 10アール当り2.000円　麦 1時間 800円	
稲麦刈り	男 1.200円　女 1.000円	
苗代委託	10アール分 2.000円	肥料防除を含む
カッター代	10アール当り　2人手伝 1.600円　手伝なし 2.500円	
防除 代金	10アール当り　前期 300円　後期 500円	8月15日まで前期　8月16日以降後期
バインダー	10アール当り 3.500円	3アール以下2割増　極不整形1割増

あなたを守る予防接種、必ず受けましょう

月	日	曜日	接種名	対象の人	会場	料金
4	12	土	献血	満16才～満65才までの人	町議会議場	
	14	月	ツベルクリン反応	昭和38年4月30日～同44年1月1日間に生れた人	井小校講堂	
	15	火	ツベルクリン反応	昭和38年4月30日～同44年1月1日間に生れた人	町議会議場	
	16	水	ツベルクリン判定 BCG	4月14日ツベルクリン反応を接種された人	井小校講堂	
	17	木	ツベルクリン判定 BCG	4月15日ツベルクリン反応を接種された人	町議会議場	
	22	火	生ワク投与	初回の人昭和44年1月1日～同43年7月31日に生れた人 2回目の人昭和44年6月30日～同年12月31日間に生れた人 追加の人昭和42年1月1日～同年6月30日間に生れた人	町議会議場	100円
5	6	火	百日咳ジフテリヤ	初回の人昭和44年1月1日～同43年6月30日間に生れた人 2回目の人昭和44年7月1日～同年12月31日間に生れた人	町議会議場	50円
	8	木	種とう	昭和44年1月1日～同43年6月30日間に生れた人	〃	30円
	13	火	百日咳ジフテリヤ	昭和44年1月1日～同43年6月30日間に生れた人	〃	50円
	15	木	種とう検診	昭和44年1月1日～同43年6月30日間に生れた人	〃	
	20	水	百日咳ジフテリヤ	昭和44年1月1日～同43年6月30日間に生れた人	〃	50円
	21	水	日本脳炎	井関小学校児童	井小校	150円
	28	木	日本脳炎	阿知須小学校児童	阿小校	150円
	30	金	日本脳炎	阿知須中学校生徒	阿中校	150円

※時間は予防接種はいずれも13時30分から14時30分までです　献血は9時から正午まで

阿知須駅西側に農道

集団栽培地帯の労力倍増

阿知須町字二ノ宮（阿知須駅西側）に幅員五㍍、長さ四百八十㍍の農道ができます。

これは町が県から六十九万円の補助を受け、工費二百三十万円で施工中のもので、四月中旬には完成の予定です。

これまで、この一帯は大きな自動車が通れるような道路がなく、集団栽培や機械化を進めながら耕作者は大変不便を感じていましたが「この道路ができ上ると労働力が倍増される」といって大よろこびです。

写真は工事中の二の宮農道

東西の話題

将来「成人の森」に

ことしも成人記念植樹

ことしの成人式は一月十五日、阿知須中学校で行なわれましたが席上、成人代表の縄田典子さん（縄南）から中尾町長に記念植樹の目録が手渡されました。

阿知須中学校の緑化に役立てようとの目的だったので、町ではテニスコートの完成を待って、このほどその周辺に〝ツツジ〟百本を植え終りました。

成人者の記念植樹は学園の緑化と、将来の「成人の森」完成をめざして、毎年、成人者が五十円ずつ出し合って行なっているものです。それに、清い心で人々のためになろうという願いも込められています。

〇〇〇〇〇〇〇〇 旦岡チーム三連勝

町内駅伝三チーム出場

第十九回町内駅伝競争大会は三月二十三日、縄田、砂飛、旦岡の三チームが参加して行なわれました。午前十時三十分、阿小校裏門前を出発。小学生から四十歳代までの選手が七区間、一万五千七百五十㍍のコースで健脚を競いました。一区から激しいトップ競いを展開し、六区まで大接戦。しかし第七区、最終区間で旦岡チームの坂井選手が力走して独走態勢に入り、堂々、三年連続優勝の栄に輝きました。

この大会は最初、三月十六日の予定でしたが、雨のため日延べされました。したがって最初七チームの参加予定だったのが三チームに減り伝統ある大会もさびしいものとなりました。しかし、選手の健闘と役員の努力で無事終了しました。

成績は次のとおり。

〔団体〕

一位　旦岡　一時間一分十二秒
二位　縄田　一時間三分三十秒
三位　砂飛　一時間五分三十三秒

〔区間賞〕

一区中川浩美（旦岡）二区田村泰守（砂飛）三区藤井博幸（旦岡）四区安光清（縄田）五区安光雅之（縄田）六区松本節夫（旦岡）七区坂井達穂（旦岡）

！！！！！！ 「壮年会」を結成

南・北祝区の働き盛り

南祝、北祝区の三十歳から五十九歳までの男子が集まり、このほど「鴨生原壮年会」を結成しました。

従来、子どもたちには「子ども会」婦人は「婦人会」青年は「青年団」老人は「老人クラブ」があり、それぞれの団体に加入しているが働き盛りの男性だけは団体がないので、地区の人たちからの声の盛りあがりで結成したものです。

本町で老人クラブを結成したのはこの地区が最初でこうした壮年会も初めてです。会員約八十名で会長は尾上潔、副会長松本隆夫、書記沢田和男の各氏です。

▲…明るく正しい選挙の実現へ…▼

婦人会青年団が「選挙の実態」学ぶ

明るく正しい選挙の実現は、私たちのひとしく念願するところですが、残念ながら選挙のたびに買収、供応などの選挙違反があとをたちません。

そこできれいな選挙の実現を目ざそうと、阿知須町明るく正しい選挙推進協議会では、三月一日、「選挙の実態を学ぶ会」を開き選挙の実態を勉強しました。

当日は、婦人会員や青年団員など三十名が参加、午前中は「町政を聞く会」として、ちょうどこの日から始まった定例町議会を傍聴し、午後は、宮本講師（小郡公民館長）を囲んで議会傍聴の感想、意見などを交換しました。宮本講師が選挙違反の実態、部落推せんの問題などを話題にすれば、出席者からも活発な意見が出され、政治に対する関心が深まったという人もありました。そして「今後もこうした機会をつくってほしい」という希望が多くの人から出されました。（写真は選挙について話合う出席者）

委員長に宮野氏

選管委員四人とも再選

町選挙管理委員および補充員は三月二十三日で任期満了となりましたが、この後任について定例議会で審議の結果、委員は四人全員とも再選、補充員は二人再選、一人が新任ときまりました。

なお初委員会は二十四日に開かれ委員長に宮野純照氏、職務同代理は磯中正雄氏の留任ときまりました。委員、補充員は次のとおり

〔委員〕磯中正雄（西条）伊東隆一（旦東）工藤一之進（寺河内）宮野純照（恵比須）＝以上再選

〔補充員〕藤谷馨（野口）塩谷順次（東）竹本秋吉（砂三）＝以上再選　今井一郎（東）＝新任

五千五百十五人が選挙人名簿に登録

登録申し出はいつでも

三月二十日現在で、本町の選挙人名簿に登録されている人は、五千五百十五人（男子二千四百四十七人、女子三千六十八人）です。

これを投票別区にみると…

第一投票区＝一千八百四人（男子八百七人、女子九百九十七人（第二投票区＝一千七百四十八人（男子七百七十四人、女子九百七十四人）第三投票区＝八百八十四人（男子三百八十三人、女子五百一人）第四投票区一千七十九人（男子四百八十三人、女子五百九十六人）となっており、十二月二十日現在より十三人増となりました。ところで三月一日までの登録申し出により新たに選挙人名簿に登録された人は九十九人でした。このうち他市町村から転入し、三カ月以上阿知須町に住み、公職選挙法に定められた手続をおえた人が五十八人。満二十歳に達した人の申出は比較的少なく、有資格者の四割種度と思われます。なお新有権者の登録申し出は満二十歳の誕生日の前日以降であれば、いつでも申し出ができます。申し出は本人でも、家族でも結構です。印鑑をもって町役場総務課までお越しいただければ簡単にできます。

24人に履修証

母親対象の家庭教育学級

現在社会にマッチした子どもを育て、かわいいわが子に夢を託しすこやかな成長を願おうと町が昨年十一月二十六日から開講した家庭教育学級は、三月十日、閉講され十八時間以上受講された二十四人のお母さん方に、中尾教育長から履修証書が手渡されました。

席上、中尾教育長から「これでこの学級は終りましたが、子どもの教育はこれからも続きます。今日まで学ばれたことを実際に行なってほしい」とのあいさつがありました。

この家庭教育学級は、小学三年生以下の児童をもつお父さん、お母さん方を対象に行なわれたもので、これまで八回、二十四時間にわたって「子どものあそび」「子どものしかり方、ほめ方」などについて小学校長などを講師として開かれました。そしていつもお母さんたち五十人ぐらいが熱心に聴講されました。

なお今年度は小中学生のお父さんを対象にした「父親学級」が夏休み期間中の夜、開講されます。くわしいことは後日お知らせしますので、その時は多数ご参加ください。（写真は履修証を受けるお母さん）

キャンプや水泳講習も

町の体育行事計画きまる

阿知須町の体育行事（昭和44年度）の日程が次のとおり決まりました。あらかじめ予定しておきふるってご参加ください。

4月20日（日）…町民運動会（雨天のときは同月27日）場所…阿中校
5月24日（日）～26日（月）吉佐管内教育キャンプ…場所…徳地町
7月12日（土）…子ども会育成水泳指導者講習会（雨天のときは7月13日（日）…場所…阿中校プール）
7月20日（日）…町内野球大会（雨天のときは同月7日）場所阿中校
8月4日（月）5日（火）…子ども会ソフトボール大会
9月28日（日）…婦人バレーボール大会　場所は未定
10月5日（日）町民ハイキング大会行き先　島根県津和野町青野山
10月10日（体育の日）…町内球技剣道大会…場所…阿中校
昭和45年
3月15日（日）町内駅伝競走大会

さあ！こぞって参加を

4月20日（日）は町民運動会

第13回阿知須町民運動会は4月20午前8時から阿中校グランドで行なわれます。当日は打ち上げ花火を午前7時に打ちあげます雨天のときは4月27日になります。

参加申し込みは4月16日（水）まで。

体育推進委員会の会議は4月16日、午後7時30分から町議場で開かれます。

町民運動会プログラム

順	種目	出場人員	種別
1	開会式	参加者全員	8時開会
2	ラジオ体操	〃	
3	100m競走	（男26女26）52名	小学校3年4年
4	70mかけっこ	自由参加	小学校1年2年
5	我田引水	（1チーム10名）130名	婦人会20歳代2人 40歳代4人 30歳代4人
6	400m競走	13名	青年男子
7	80m〃	13名	青年女子
8	100m〃	（男26女26）52名	小学校5年6年
9	みんなでかけっこ	自由参加	4歳以上（幼児）
10	1.500m競走	13名	青年男子
11	瓶釣り競走	自由参加	一般男女 中学生含む
12	2人3脚200m継走	（1チーム男4女4）104名	一般男女
13	200m競走	学年1名39名	中学1.2.3年男子
14	マラソン5000m	（1チーム3名まで）39名	青年男子
15	借物競走	自由参加	一般男女
16	80m〃	（1チーム2名）26名	40歳代A44歳B49歳
17	800m継走	（1チーム4名）52名	青年男子
18	1.500m〃（予選）	（1チーム18名）234名 昼食13時再開	子ども会
19	綱引き	自由参加	一般男女
20	100m競走	13名	青年男子
21	最後の一滴競走	自由参加	来賓役員，一般男女
22	400m継走	（1チーム4名）52名	青年女子
23	ふうせん割継走	（1チーム6名）78名	男，女3名ずつ
24	150m競走	（1チーム2名）26名	30歳代A34歳B39歳
25	ラムネ早飲み〃	自由参加	一般男女子
26	1.500m継走	（1チーム18名）決勝	こども会
27	樽ころがし〃	1チーム4名）52名	婦人
28	似顔絵書き〃	（1チーム5名男2.女3名）65名	一般男女
29	キツクボール	自由参加	来賓，役員
30	百足競走150m	（1チーム5名青年2壮年3）65名	青年壮年男子
31	1000m継走	（1チーム8名）104名	小中青30才40才
32	閉会式	参加者全員	16.00時終了

どこでも買えます

お米の配給制度改正

お米の配給制度が四月一日から変りました。

これは配給制度ではあるが、流通機構の近代化と販売面での自由競争化をねらったものです。

改められた点は次のとおりです

①消費者と小売販売業者との結びつき登録の廃止―お米を買う人は購入通帳さえ示せばどの米穀販売店でも買える。

②配給基準量の引上げ、各種加配米制度の整理、外食券制度の廃止―配給基準量が一人一カ月十キログラムだったのが十五キログラムにふえました。その他、加配米、外食券制度は廃止されました。

役場人事異動

（　）内は旧職　四月一日付

厚生課長（厚生課福祉衛生係）砂村好恵
厚生課長同格（厚生課長）青木潔
収入役室（総務課庶務係）西村チサエ
総務課庶務係（収入役室）高杉道子
住民課国保年金係（総務課庶務係）工藤栄子
税務課賦課徴収係（産業課産業係）村重万喜男
税務課固定資産税係（施設課施設係）縄吉学
税務課固定資産税係（施設課都市計画係）縄重由紀子
厚生課水道係（施設課都市計画係）堅田英雄
産業課産業係（施設課施設係）福岡芳博
教育委員会社会教育係（施設課施設係）長尾建樹
施設課都市計画係（厚生課厚生係）伊藤美代子
住民課国保年金係（厚生課水道係）深井孝之
総務課庶務係（住民課国保年金係）田中圭子
税務課賦課徴収係（住民課国保年金係）水本昭治
施設課施設係（税務課固定資産税係）磯崎英規
施設課都市計画係（税務課賦課徴収係）大谷幸久
施設課都市計画係（税務課賦課徴収係）新谷政子
住民課国保年金係（税務課賦課徴収係）中尾佐多彦
合同納骨塔（総務課庶務係）浜岡彰

先生の異動

（敬称略）

阿知須小学校
校長　井上慶一（山西中へ）
〃　佐々木賞（深浦小から）
教諭　北村千代子（小郡小から）
〃　松村桂子（小郡小から）
〔退職〕原川松子　荒瀬妙子

井関小学校
教諭　原田玲子（小郡小へ）
〃　河野美智子（重安小から）

阿知須中学校
校長　多根整一（鴻南中へ）
〃　光永賢三（久米小から）
教頭　徳重利為（厚保中へ）
〃　小池文雄（秋穂中から）
教諭　梅田芳美（向島中へ）
〃　田村彰（野登呂中へ）
〃　田中基介（下松中へ）
〃　西村武史（堀中から）
〃　大村卓三（大津島中から）
〃　田村忠治（秋芳北中から）
〃　塩見正（秋穂中から）

◇遠くの人でも貸します◇

県立図書館が本の郵送貸出し

山口県立山口図書館では遠くに住む人たちにも読書や研究の便をはかるため、郵送貸出しをしています。

貸出し希望者は事前に登録をしておくことになっていますが、申込み用紙は町公民館にあります。

貸出し条件は
冊数　一人一回二冊まで
期間　二十日以内
送料　申込者が負担

くわしいことは阿知須町公民館（電話一〇五番、有線公三番）におたずねください。

なお町公民館でも町の図書を貸出しています。町民はだれでも借ることができますので、気軽にご利用ください。

慶弔録

婚姻

おめでとうございます
この喜びをいつまでも

◉秋本豊彦　山口市今井町
悦子（旧姓末永）　飛石
◉西村洋太郎　砂二
久美子（旧姓青山）　厚狭郡山陽町
◉森富滋　縄北
通江（旧姓大羽）　島根県津和野町
◉村重万喜男　北祝
久美子（旧姓林）　北祝
◉石川静男　砂三
槇子（旧姓佐々木）　美東町大田
◉兼清鄭輔　下松市西豊井
加代子（旧姓潮崎）　恵比須
◉長井義行　築地
和子（旧姓松永）　宇部市妻崎開作
◉長田勉　小南
美千代（旧姓鶴岡）　宇部市小串
◉重富孝　宇部市沖宇部
淑子（旧姓縄田）　東
◉小中盟　築地
富士子（旧姓中村）　熊毛郡田布施町
◉田辺孝文　岩上
好子（旧姓藤岡）　宇部市藤河内
◉小林勝己　浜
富子（旧姓三津田）　山口市大内

出生

おめでとうございます
ご健康をお祈りします

父の氏名	続柄	子の名	生年月日	部落
上野敏也	長男	健児	2.26	東
大沢義雄	長女	康枝	3.5	築地
大下三男	長女	綾子	3.7	浜表
西村徹明	長女	明子	3.10	砂二
太田時男	2女	広子	3.9	砂三
藤本宏文	長男	昌宏	3.5	砂一
古川友信	長女	純子	7.3	野口
八木沢圭以	長女	道子	3.9	門松
徳永実	長女	真由美	3.13	飛石
浜岡誠	長女	一枝	3.14	北祝
長久満	2男	晃	3.12	小西

死亡

おくやみ申し上げます

氏名	死亡年月日	年令	部落
坂田源吉	2.27	76	赤迫
鈴川ヨネ	3.2	90	岡
市川宗介	3.15	74	砂二
藤重ヤナ	3.19	75	旦西
金本サヨ	3.27	64	南祝